

第116回例会 1961.10.3 (火) 雨後曇 庄内の磯 (斎藤求画伯)

例会場 鶴岡市一日市町 ひさごや (707番)

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

### 次回例会

10月10日(火)

1日講習その他報告 会長 池内君、三井君

#### ○出席報告

本日	会員数	48名	佐藤(貞)君、谷口君、
の	出席数	39名	板垣君、福島君、
出席	出席率	81.2%	五十嵐君、金井君、
			黒崎君、田中君、
			渡辺君 9名
前回	前出席率	87.5%	メ
の	修正出席数	36名	クア
修正	修正出席率	90%	ップ
			三井君(富山)

#### ○司会

三浦会長

#### ○ゲスト

大室敏中先生

#### ○ビジター

武田氏(NHK)

#### ○ソング

それでこそロータリー  
リーダー 広瀬君

#### ○連絡事項

国際奉仕委員会より

○Migliorini夫人に当クラブで送るチヌーリップの件、此の度米国の農務省から輸入の許可書ラベル6枚が送って来たので東京第一エンゲーターを通じ発送します。

○ロータリー財団の委員長メラパンよりの手紙で、当クラブから送った3,600円の基金の礼状が到着。

○南西カルカッタRCより  
今度私したちは新しくロータリークラブを結成致しました。貴クラブの思想、活動状況、当面する問題をお知らせ下さい。色々な情報や思想の交換は異なる地域間のロータリアンの親善のみならず、ロータリーの世界奉仕の理念を達成する上に役立つことを確信いたします。私達のS-Wカル

カタ・クラブのメンバーは皆ロータリークラブの世界的な使命を忠実に果しているものと信じ、そして色々な異つた地域からの交通が皆様と私たちを一そう固く結びつけ、我々を励まして下さることを信じて、皆様からの御返事を切望致します

#### ○幹事報告

○会報到着 花輪RC 東京RC

○例会日時間及場所変更  
古川RC 10月12日～10月10日 12時  
神戸東RC 10月10日～10月12日 } 合同例会、オリエンタルホテル  
神戸西RC 10月13日～10月12日 }  
石巻東RC 10月7日～10月7日 12時  
石巻家政高体育館  
新発田RC 10月9日～10月7日  
新発田中央公民館  
東京日本橋RC 10月17日より会場を  
パレスホテルへ  
横浜RC 10月より会場を鶴見区鶴声館へ

#### ○チャーターナイト案内

下田RC 1月28日 下田北高校体育館 ¥2,500  
田原RC 11月5日 田原中学校講堂 ¥2,500

#### ○新クラブ誕生

倉敷南RC 毎金曜12時30分より新三菱重工水島クラブ

○去る8月2日より5日まで月山大満原で開かれましたボーイスカウト羽黒大会に当クラブで援助申上げましたが、それに対し感謝状と記念手拭が参りました。御披露申上げます。

○台北西北RCよりバナーの御礼と共に台湾観光案内冊子、御送付ありました。早速回覧致します。

○大松屋さんより民田茄子を菓子に仕立てた珍らしい菓子が贈られて来ました。早速例会で試食致し

ました。皆様いかがでしたでしょうか、当地特産の珍菓をどうぞ御利用下さい。大松屋さんの御好意有難く御礼申し上げます。

○会員石井君より会報のファイル贈られました。早速全会員に配布致しました。何卒一層の御活用を

○ロータリー情報委員会より 安藤君

◎ロータリークラブの入会金または会費等について法人税法上の特例

国際ロータリー加盟の各地のRCに対する入会金または会費等を法人が負担した場合の法人税の取扱いについては、これまで昭和28年、同29年、同33年の三度にわたって、その取扱いが通達によつて定められております。

まず昭和28年直法1-76通達によりますと、法人がRC会員である自己の役員または従業員のために、RCの入会金または会費その他クラブに要する費用を負担した場合には、会員たる役員または従業員の賞与とされ、RCの会議出席のための出張費用も同じく賞与とみなされていた。

しかし昭和29年直法1-50、昭和33年直法1-211両通達によりますと、RCの会員のうち単に法人の役員又は職員たる地位に基づいて入会している会員に対して法人が支払つた入会金および月々の会費だけは(パーティー、懇親会、その他催物等の特別会費を除く)その損金性を認めて貰えます。又この取扱は交際費として支出されるのが適当とされています。

○最も良く務める者は、最も多く報いられる

○10月の誕生者

五十嵐君	おくさん誕生
広瀬君	斎藤 脩子さん(得)
村田君	佐藤登久子さん(昇)
高橋君	菅原きくよさん(主)
武田君	黒崎 瑞枝さん

○卓話 「女子教育あれこれ」 大室敏中先生

私は教職についてから30年近くなるが、その中の3分の2は女子の学校ですごした。終戦引揚げまで13

年、私は台湾の某女学校にいたが、あの苛烈な戦争を通じて、職員も生徒も必勝を期して、一体となつて銃後の働きに献身した。私のいた学校は内台人共学の学校だつたが敗戦後も、内地人の生徒達は台湾人の生徒達に冷くあしらわれるようなことはなかつた。又私達教師に対しても侮辱的な言動に出る事もなかつた。引揚げの船が出港する時、乗船迄の長い待ち時間に、むづかる私の小さな子供達をあやしてくれた台湾人の教え子の姿が今でも胸の裏にやきついている。「先生どうぞ元気でいて下さい。又きつとお会いする時があります」こんな言葉で私達を励ましてくれた彼女等だつた。女学生の彼女達は言葉遣いも物腰も勉強ぶりも内地人と殆ど変らなかつた程、日本的な教育がしみ通つていたが、中国の伝統的な文化には深い誇りと愛着を持つていた。例えば彼女等は決して和服(キモノ)を着ようとはしなかつたし、台湾料理にはゆるぎない自信を持つていたようだ。日本の現在の女生徒達は戦後の教育制度の改革によつて、確かに自由と平等を与えられ、人権尊重に目覚めた。黙し何か民族文化の底を流れている貴重な物を失いつつあるのではないだろうか。民族文化を血と肉にそしやくし、子孫に伝える女子の役割は誠に大きいものだから、日本の教育には人間像が明かにされていない、無国籍の教育だなど批判されぬよう戒むべきだと思う。北大のクラーク博士の例を持ち出すのもおこがましいが、私は信頼と愛情に結ばれた教育の力は民族や国の大小、勝敗の別を超え得るものであること。又国際親善や相互理解も、各民族、国家がそれぞれの文化的特色を発揮してこそ、国際社会に寄与できるものであると信じる

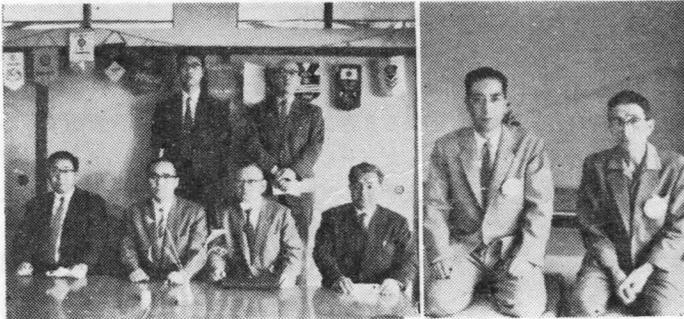
○ニコニコ箱

長谷川君遅刻  
張君遠方より友達が来て  
広瀬君誕生祝  
高橋君 ク  
村田君 ク  
莊司君柏戸横綱昇進の為

佐藤(昇)おくさん誕生  
菅原(主) ク

○本日の献立

サケの味噌漬、タマゴ焼、花  
無甘煮  
エビ、キノコ、トーフ汁  
鳥はさ



上列左武田君、吉村君  
下列左渡部君、岡崎君、村田君、黒崎君、三井君、男網君